

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年4月前半）

1. 経済

- 伊ブランド、ドルチェ&ガッバーナの創設者であるドメニコ・ドルチェ氏とステファノ・ガッバーナ氏、当国のペーパーカンパニーを利用して約8億4900万ユーロを脱税した罪で3億4340万ユーロの罰金。（2日付ル・コティディアン紙）
- 2012年第4四半期の当国GDPは、前年同四半期比、及び同年第3四半期比共に1.6%増で、2012年全体のGDPは前年比0.3%増（速報値）。（2日付統計局プレスリリース）
- 3月のインフレ率は、1.96%（2月は2.3%）で、2%を下回ったのは2010年6月ぶり。（3日付統計局プレスリリース）
- 韓国のスマートフォン向けソーシャルゲーム会社であるMoyasoft社、2月に欧州拠点を当国に設立。（4日付ペーパージャム誌電子版）
- ルクセンブルク籍のカタール資本投資会社であるDivine Investments、2013年夏までに仏百貨店大手プランタンを買収すると5日に発表。（5日付ペーパージャム誌電子版）
- 当国航空貨物取扱会社であるルクスエアーカーゴ社、欧州初となる、一定の温度管理が可能な貨物保管所をフィンデル空港に8日開設。世界的な経済危機に拘わらず成長する医薬品輸送をターゲットとしたもの。（9日付ル・コティディアン紙）
- カーゴルクス社、4月16日よりトリポリ（リビア）へ週一便で就航することを発表。同社は新路線により、リビアの石油及びガス部門における経済成長に伴う空輸需要の伸びに応える。（10日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- 当国BGL-BNPパリバ社、2012年の利益は2億6680万ユーロで、2011年の2億9780万ユーロより減少したものの、満足いく結果だとした。なお、当国政府は2008年に転換社債購入により同行を救済した経緯から、同行資本34%を所有しているが、政府の希望価格より高い価格が提示されれば、同行から撤退する用意があるとしている。（4日及び10日付ヴォルト紙電子版）

3. 政府

- シュナイダー経産相、4日に開催された欧州中央銀行（EBC）定例理事会にてユーロの主要政策金利が0.75%に据え置かれたことを遺憾に思う旨の

コミュニケを発出。（5日付政府公報）

●ルクセンブルク産業のための高等委員会が8日に設置され、同日の第一回会合にシュナイダー経産相及びフリーデン財相が出席。同委員会は政府及び産業界の代表者から構成され、当国産業の分析やアクションプランの提示等を行う。

（8日付政府公報）

●フリーデン財相、ルクセンブルク・ファンド協会（ALFI）のロンドン開催のセミナーに9日出席。当国ファンドセクターの課題と可能性につき講演を行った。（8日付政府公報）

●ユンカー首相、10日の施政方針演説にて、EU貯蓄課税指令（2003/48/CE）に定められる銀行口座情報の自動交換を2015年1月より実施すると発表。

（10日付政府公報）

●フリーデン財相、12日及び13日にダブリン開催のユーログループ及びEU財相理事会に出席。（11日付政府公報）

●シュナイダー経産相、11日にコベンコ露副首相兼経済発展・投資・商業相及びステップノヴァ・露サマラ州特許相と当国にて対談。（12日付政府公報）

●フリーデン財相、15日にアンヘル・グリアOECD事務局長とパリで会談。税制について意見交換を実施。（15日付政府公報）

●アセルボーン外相、15日にウィーンにてオーストリア外相と対談。当国の銀行口座情報自動交換の決定につき意見交換を行った。（15日付政府公報）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。